

4. その他本件事業の目的に適合する内容について

4.1 本件事業へ協力・連携する民間事業者とその協力内容

平成 28 年度事業開始時において、協力・連携を行う民間事業者は久米島海洋深層水開発（株）水産事業部〈海ぶどう養殖場 運営〉、沖縄県車海老漁業協同組合 海洋深層水種苗供給センター〈車えび種苗センター 運営〉、(株)大内海洋コンサルタント 〈ワカメ・カジメ生育試験実施〉の予定とした。ただし、ワカメ・カジメ生育試験実施は同社都合により昨年度および今年度は試験休止となっているため、対象としていない。

表 4-1 に、本事業開始時における協力・連携予定内容および、協力内容を示す。

表4-1 深層水および表層水の所要温度と海水種別

事業者	開始時予定	平成 28 年度	平成 29 年度
久米島海洋深層水開発（株） 水産事業部 〈海ぶどう養殖場〉	当該企業の敷地内配管システム敷設	引き込みまで完了	施設内配管施工
	使用した海水の流量・温度データ提供	－（流量・温度センサー設置）	実施
	養殖前後の水質検査用の検体提供	実施	引き続き実施
沖縄県車海老漁業協同組合 〈海洋深層水種苗供給センター〉	養殖前後の水質検査用の検体提供	実施	引き続き実施
(株)大内海洋コンサルタント 〈ワカメ・カジメ生育試験実施〉	生育前後の水質検査用の検体提供	(*1)	(*1)
	各養殖の水質への影響のとりまとめ	(*1)	(*1)
(株)ジーオー・ファーム 〈牡蠣陸上養殖試験実施〉	当該企業の敷地内配管システム敷設	引き込みまで完了	施設内配管施工
	使用した海水の流量・温度データ提供	－（流量・温度センサー設置）	実施
	養殖前後の水質検査用の検体提供	実施	引き続き実施

(*1) 同社都合により、平成 28 年度後半～29 年度は試験休止となっているため。

4.2 現地視察・見学、および取材等への対応

現在実施されている沖縄県「海洋深層水の利用高度化に向けた発電利用実証事業」（以下「発電利用実証事業」）における現地視察・見学、および取材等への対応と連携し、対応を実施した。

本事業は、沖縄県における再生可能エネルギーの導入拡大の一環として実施されていることから、再生可能エネルギーの一つとしての海洋温度差発電に対する理解促進のため、昨年度までに引き続き、視察・見学者を積極的に受け入れた。

平成 25 年 4 月から運転を開始した沖縄県久米島町の海洋温度差発電 (OTEC) 実証設備の来場人数及び件数は、平成 25 年度が 1,578 人の 284 件(ただし、平成 25 年 6 月 16 日に行われたオープニングセレモニー(通電式)の来場者は含まない)、平成 26 年度が 1,642 人の 295 件、平成 27 年度が 1,672 人の 283 件、平成 28 年度が 1,786 人 267 件と年度を重ねる毎に来場人数が増加してきたが、今年度(平成 29 年度)は 1,315 人 255 件と初めて減少傾向となった。以下に、現在までの推移を比較しながら、来場人数及び件数の内訳(月別、訪問目的別、所属別、地域別)の統計結果を示す。

月別の来場人数をみると、平成 25 年度は 10 月が 319 人と最も多く、次いで 11 月の 274 人、平成 26 年度は 11 月が 248 人と最も多く、次いで 3 月の 197 人、平成 27 年度は 11 月が 365 人と最も多く、次いで 5 月の 202 人、平成 28 年度は 11 月が 281 人と最も多く、次いで 10 月の 201 人、平成 29 年度は 10 月が 155 人と最も多く、次いで 5 月の 146 人となっている。また件数でみると、平成 25 年度及び平成 26 年度は 10 月が最も多く、それぞれ 37 件、39 件となっている。平成 27 年度及び平成 28 年度は 11 月が最も多く、それぞれ 37 件、29 件となっている。平成 29 年度は 3 月が最も多く、31 件となっている。(表 4-2、図 4-1)。

その他、詳細については「海洋深層水の利用高度化に向けた発電利用実証事業」報告書参照。

表 4-2 OTEC 実証設備 月別来場人数 件数及び 1 件あたりの人数(平成 25 年度から平成 29 年度)

月	平成 25 年度			平成 26 年度			平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度		
	人数	件数	人数 / 件	人数	件数	人数 / 件	人数	件数	人数 / 件	人数	件数	人数 / 件	人数	件数	人数 / 件
4 月	12	4	3.00	110	22	5.00	73	20	3.65	107	22	4.86	139	24	5.79
5 月	57	10	5.70	175	25	7.00	202	29	6.97	131	20	6.55	146	20	7.30
6 月	54	16	3.38	196	22	8.91	162	27	6.00	191	23	8.30	91	20	4.55
7 月	71	22	3.23	113	23	4.91	97	26	3.73	145	26	5.58	142	21	6.76
8 月	130	36	3.61	163	32	5.09	90	13	6.92	101	19	5.32	119	22	5.41
9 月	77	23	3.35	65	22	2.95	91	23	3.96	166	22	7.55	53	15	3.53
10 月	319	37	8.62	155	39	3.97	201	25	8.04	201	27	7.44	155	25	6.20
11 月	274	34	8.06	248	27	9.19	365	37	9.86	281	29	9.69	138	28	4.93
12 月	150	19	7.89	72	12	6.00	57	16	3.56	106	24	4.42	33	11	3.00
1 月	136	14	9.71	51	14	3.64	92	16	5.75	108	15	7.20	133	26	5.12
2 月	138	25	5.52	97	28	3.46	119	25	4.76	148	23	6.43	54	12	4.50
3 月	160	44	3.64	197	29	6.79	123	26	4.73	101	17	5.94	112	31	3.61
合 計	1,578	284	5.56	1,642	295	5.57	1,672	283	5.91	1,786	267	6.69	1,315	255	5.16

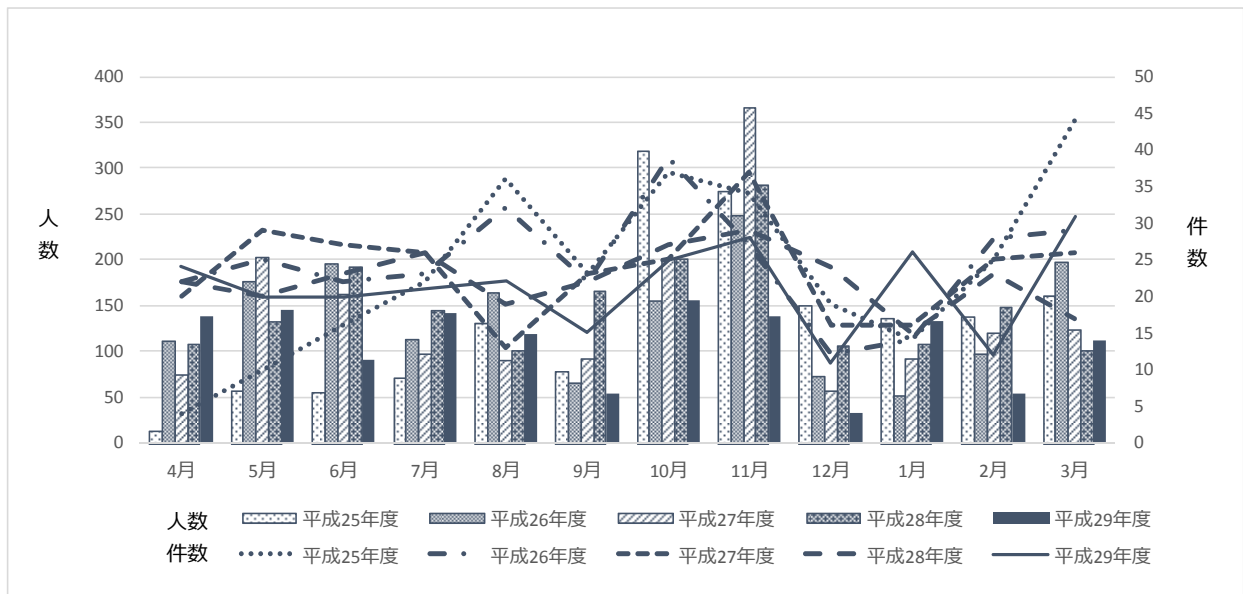


図 4-1 OTEC 実証設備 月別来場人数及び件数(平成 25 年度から平成 29 年度)

4.3 検討委員会

本件事業の実施状況を把握し、実施のあり方を検討する目的で、次の通り検討委員会を設置し、委員会を3回開催した。

4.3.1 委員構成

検討委員会の委員構成は表 4-3 の通りである。

表 4-3 検討委員会の委員構成

	氏名	所属
1	大塚 耕司	大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 教授 海洋深層水利用学会 理事 (分野:海洋環境)
2	池上 康之	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター 副センター長 (分野:海洋エネルギー(海洋温度差発電))
3	瀬名波 出	琉球大学 工学部 機械システム工学科 准教授 (分野:海洋バイオマス利用)
4	平田 厚夫	沖縄県 商工労働部産業政策課 副参事 (分野:沖縄県(産業振興・エネルギー政策))
5	鹿熊 信一郎	沖縄県 海洋深層水研究所 所長 (分野:海洋深層水)
6	友寄 章	久米島町 産業振興課 営農班長 (分野:産業)
7	伊佐 真賢	株式会社沖縄エネテック 環境グループ グループリーダー (分野:環境)
8	關 哲夫	元東北区水産研究所 所長 一般社団法人 全国水産技術者協会 理事 (分野:水産)

4.3.2 委員会開催概要

表 4-4 に本年度委員会の開催日程を示す。

表 4-4 検討委員会開催日程

開催日時	名称	開催場所
H29年8月3日	H29年度 第1回検討委員会	久米島町(町役場)
H29年12月19日	H29年度 第2回検討委員会	久米島町(町役場)
H30年3月13日	H29年度 第3回検討委員会	久米島町(イーフ情報プラザ)